

台風一過 徳島＝香川 平和行進引継ぎ横断幕は香川に

台風2号が各地で大変な被害を起こしました。幸い心配された雨中行進は回避され、3県目の香川県に横断幕が入りました。原水爆禁止国民平和行進が始まって65年。北朝鮮のミサイル発射を契機に岸田政権は韓国との「拡大抑止」を確認し、一段と事態は危険な方向に強まりました。いまこそ原爆なくせの声を大きく強くすることが、草の根の仕事です。

引継ぎ式では徳島県を代表して、山本まさみ実行委員長が挨拶。徳島県が高知県から引き継いだ5月21日からの15日間で、25自治体を訪問し、対市町交渉をおこなったと報告。心配された雨は2日間のみであったこと、そして県含め80%の自治体で意見書を採択され、残る4市を23年中に採択させたいと決意しました。

引き継いだ香川県を代表して岩部乃之県原水協筆頭代表が挨拶。まず徳島県の行進を労い、元気に愛媛県に6月18日に横断幕を渡したいと決意。そして第69回四国大会さらに世界大会と、平和な道を歩もうと呼びかけました。

最後に四国コースの横断幕は、徳島代表から、平和病院の原田院長一家に渡されました。毎年両親に連れられて参加していた子どもさんも17歳となりました。

今日の行進者は7人といままでにない少なさとなりました。明日からはもっと多くの人材での行進を呼びかけます。頑張りましょう。



徳島・香川両での合同引継ぎ式



香川県に引き継がれた横断幕